

令和7年9月号

鹿浜こども園だより

鹿浜こども園の教育目標

げんきなからだ・やさしいところ・かんがえるちから

心豊かで たくましい「遊ぶの大好き・笑顔いっぱいの子ども」
を育てる

言葉をわたす

幼児教育の中では、言葉を子どもたちに『わたす』ことを大事にしています。

子どもたちは大人の話しかけや問いかけ、共感により、モノ・コト・感情を認識し、言葉で表現できるようになります。5歳児までに獲得する語彙数は、個人差はありますが目安として、約 2000 から 2500 語ともいわれています。ただし、その言葉がどのような意味を持つかまでは、不完全であり、体験や経験を通してその場にあった言葉を覚え使うようになっていきます。

先日、保護者の方から、『子どもたちの言葉が乱暴』と、ご心配な声をいただきました。私たち保育者も、『ドキッ』とすることがあります。そのようなときは、なぜその言葉を使わなくてはいけなかったのかを、まず子どもと一緒に考えます。『悔しい気持ち』『悲しい気持ち』『友達と一緒に遊びたい気持ち』『聞いてほしかった気持ち』など、様々な思いが出てきます。その思いに共感しながら、その気持ちにあった言葉をわたすようにしています。そして、相手の気持ちも一緒に考え言葉にしています。心の葛藤を何度も何度も経験することで、相手にも気持ちや思いがあることを知り、折り合いをつけ、その場にあった言葉がつかえるようになっていきます。

現代を生きる子どもたちには、多くの刺激が入ってきていることも確かです。携帯電話やタブレットなど容易に操作できるようにもなってきました。一方的に入る言葉は、意味やどんな場面にあつかわしいか、子どもたちには理解できません。だからこそ、私たち大人は、子どもたちに対して決して言葉は投げつけず、正しい言葉で丁寧にわたしていくことが大切です。

ご家庭でも、お子さんが意味を知らずに、意味を間違えている言葉で表現している場面がありましたら、怒るのではなく、どんな気持ちだったのかを聴いていただき、その気持ちにあった言葉を一緒に考えていただきますようお願いいたします。

園長 澤田 好



令和7年9月1日

足立区立鹿浜こども園

第一園舎 Tel.3855-4447

足立区鹿浜 5-25-11

第二園舎 Tel.3897-8515

足立区鹿浜 5-24-4-101

園長 澤田 好

☆運動会のおしらせ☆

今年度の運動会は、いつも過ごしている環境でのあそびや異年齢での関わりを見ていただきたいという思いから、第一園舎で行います。

時間等の詳細は、後日お知らせいたします。

日程：10月4日（土） 予備日 11日（土）

【行事予定】

9 月	
1 日（月）	始業式（4・5歳児） 安全指導
4 日（木）	避難訓練（引き取り訓練）
5 日（金）	プール終わり（4・5歳児）
19 日（金）	身体測定
22 日（月）	そう組・きりん組おたのしみ会 （5歳児）

10 月	
1 日（水）	都民の日（短時間4・5歳児休日）
2 日（木）	内科健診（第二）13：00～ 安全指導
4 日（土）	運動会（3・4・5歳児）
6 日（月）	お月見
7 日（火）	運動会振替（短時間4・5歳児休日）
11 日（土）	運動会雨天時予備日
16 日（木）	避難訓練（第一） 内科健診（第一）13：00～
20 日（月）	身体測定
22 日（水）	開園記念日（短時間4・5歳児休日） 避難訓練（第二）
27 日（月） ～11/7（金）	保育参観・参加（1・2歳児）
28 日（火）	ぶんぶん劇場（3・4・5歳児）

《二学期始業式 4・5歳児》1日（月） 服装 標準服

夏季休業が終わり、二学期始めの式を行います。

降園時間 短時間保育児・・・11：45

《引き取り訓練》4日（木） 持ち物：引き取り確認書

災害に備えて、非常時の引き取り訓練を行います。コードモンで配信したお知らせの内容をご確認の上、訓練に参加してください。



ADACHI CITY



〈ひよこ組〉

クレヨンを使ったお絵描きや小麦粉粘土、シール貼りを楽しんでいます。

特にシール貼りが大好きで、保育者が準備をしていると周りに集まってきています。初めはなかなかシールをはがせず、保育者に助けを求めています。今では好きな色を手にとって、自由に貼っています。

自分で思いを伝えようとする姿も増え、簡単な言葉で伝えてくれたり、身振り手振りで教えてくれたりしています。今後も、子どもたちの意欲を大切に、気持ちを受け止めることを大切にしていきます。



ねらい

- ・保育者と一緒に、登る、跳ぶ、運ぶ、走るなど身体を動かす楽しさを感じられるようにしていきます。
- ・保育者と触れ合う中で、簡単な言葉や身振り手振りをを使って表現し、思いが伝わる喜びを感じられるようにしていきます。

〈りす組〉

巧技台や一本橋などで体を動かして遊ぶことを楽しんでいます。

巧技台からジャンプをした後にマットで前転をする動きを繰り返し楽しんでいます。一本橋では、手を広げてバランスを取ったり、カニ歩きをしたり、友達と手をつないで歩いたり、最後まで落ちずに渡れることを楽しんでいます。

自分で工夫して遊び、友達のやっている姿を真似する中で、挑戦する姿や出来たことを一緒に喜んでいきます。



ねらい

- ・友達や保育者と一緒に、のびのびと体を動かす楽しさを感じられるようにしていきます。
- ・伝えたい思いをくみ取り代弁していくことで、自分の言葉で表現しようとする姿を育てていきます。

〈うさぎ組〉

「今日は第一園舎に行く？」とお兄さん、お姉さんたちのいる園舎に行くことを楽しみにしている子どもたち。向かうまでの道中も「今日何してるかな？」と会話を弾ませています。到着すると、目を輝かせて「一緒にしてもいい？」「これどうやるの？」と自ら4、5歳児の友達に遊び方を聞いて一緒に遊んでいます。第一園舎でできたことが、うさぎ組に戻ってきても「こうしたいんだよね」とリクエストがあり、クラスの製作コーナーを作りました。「車にするんだ〜」「かばんを作るの」とアイデアを形にして楽しんでいます。



車をかっこよくしたいからここにテープで貼るの！

できた！

製作コーナーと子どもたちの作品。



大きいなあ！どうやって作ったのかな？

ねらい

- ・異年齢の友達と関わる中で、やさしさや憧れの気持ちを感じられるようにしていきます。
- ・身の回りのことをやってみようとする気持ちを大切に見守っていきます。

〈ぱんだ・こあら組〉

プールに入れることを知ると毎回大喜びの子ども達は、水の冷たさや温かさ、身体が浮く感覚、心地よさを身体全体で味わいました。室内でも泡、泥、絵の具などの遊びの中で水に触れ、「ふわふわにするにはどうしたらいい?」「泡を凍らせたらどうなる?」と探究が止まりません。

引き続き探究を楽しみながら、作ったものを使ったごっこ遊びなどに繋がり、遊びが膨らんでいくようにしていきたいと思っています。



生クリームみたいにしたい!

不思議に感じたことを自分で試し気づく経験を大切にしています。



ねらい

- ・自然物に触れて遊び、友達と驚きや発見を共有しながら探究を楽しんでいきます。
- ・巧技台などで身体を動かす楽しさを味わいながら、挑戦する気持ちや友達と協力して成し遂げる達成感を味わえるようにしていきます。

〈ぞう・きりん組〉

プールでは、「ぷかぷか浮いてる!」、「流される〜!」と、自分の体が浮いている感覚や流されている感覚を言葉に表現して、友達や保育者に伝えることが増えてきています。

数名の子どもたちがカプラタワーに挑戦し、だんだん大きくなってくると、「手伝ってあげるよ!」と友達の輪が広がり、できた時の達成感をみんなで味わいました。

これからも、サークルタイムなどを通して、子どもたちが自分の感じたことを言葉にして伝えあえるようにしていきます。



流れるプールで、流される感覚や浮く感覚を味わっています。

どうしたら高くできるか、アイディアを出し合っています。



ねらい

- ・サークルタイムなどを通して、自分の話を聞いてもらう楽しさを味わったり、友達の話聞いて良さに気づいたりしていけるようにしていきます。
- ・友達と共有のイメージをもって、遊びを進められる楽しさを感じられるようにしていきます。

友達と一緒に楽しんだ遊びの一つにカラーバルーンがあります。5歳児の「いくよ、せーの!」の声に合わせて大きく膨らんでいくバルーンに4歳児は目を輝かせていました。やがて4歳児も大きな声で「せーの!」と息を合わせて、引っ張ったり持ち上げたりする姿が見られます。友達と力を合わせる喜びや「できた!」という達成感をみんなで味わいました。

これからも友達と声を掛け合いながら、伝えたり応えたりするやり取りを楽しめるような関りをしていきます。



いくよ! せーの!



ねらい

- ・異年齢での関りを通して、『伝える・応える』のやり取りを楽しんでいきます。
- ・相手の立場や気持ちを知り、自分の気持ちも言葉で伝えられるよう言葉を補っていきます。